

気仙地方における集約化施業を推進する人材育成

気仙地方における提案型集約化施業や森林経営計画の作成・認定を促進するため、森林組合等の担当者を対象として、集約化施業を推進する人材育成に取り組んだ事例を報告します。

1 プランナー試験勉強会

森林組合の担当者を対象として、森林施業プランナー協会が行う認定試験の合格を目標として実施しました。

(1) 1次試験対策(筆記9/7)

1次試験を受験する3名を対象に、各普及指導員が得意分野の講師を務め、5回にわたり筆記試験に対応した講義を行いました。この結果、受験者3名全員が1次試験を突破しました。



プランナー試験勉強会

(2) 2次試験対策(面接1/24)

2次試験では、集約化の実践経験を求められることから、昨年度と今年度の1次合格者7名を対象に、実際の取組をベースとし、普及指導員が司会進行を

務めるワークショップ形式の講義を2回にわたり行いました。

講義では、各森林組合の参事や事業課長の出席を求め、各担当者が発表する路網計画や搬出方法、見積内容等を全員で議論し、実効ある取組となるようアドバイスを行いました。

2 経営計画システム実務研修

11月18日、森林組合や市町村の担当者12名を対象に、県庁森林整備課の職員2名を講師に招き、クボタシステムを活用した実務的な知識とスキルを習得する研修を開催しました。各自の疑問点をその場で解決できるなど、有意義な研修となりました。



経営計画システム実務研修

3 おわりに

今後、各普及指導員による個別巡回指導を行うとともに、ハード事業の導入支援を行うなど、提案型集約化施業や森林経営計画の作成・認定の着実な促進に取り組んで参ります。